

第1学年 国語科の実践

1 単元名 のりものはかせになって「のりものクイズ」をつくろう

教材名 「いろいろなふね」(東京書籍 1年)

2 単元の目標

- 乗り物に興味をもって教材文を読んだり, 好きな乗り物について調べたりしようとする。【国語への関心・意欲・態度】
- 事柄の順序を考えながら, 内容の大体と文章の構成を捉えることができる。【読む能力】
- ◎ 文章の中の大事な言葉や文を考えて書き抜くことができる。【読む能力】
- 主語と述語の関係に注意して文章を読むことができる。【言語についての知識・理解・技能】

3 付けたい力と言語活動

本単元の重点指導事項は, 学習指導要領における C 読む(1) イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」および, エ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」である。本単元を通して, 書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り, 他の本を読んで調べたことをまとめる力を育みたい。

そこで, 本単元では, 調べたことをもとに, 乗り物博士として「のりものクイズ」を作り, クイズ大会を開くという言語活動を設定した。児童は, クイズ大会に向けて目的意識をもって, 教材文や図書資料を読もうとすると考える。また, クイズを出すために, その乗り物について大事な言葉や文を見つける必要性を感じられるだろう。

4 司書教諭と学校司書とのかかわりについて

- ・調べ学習に使う図書資料の収集, 精選・・・事前(学校司書)
- ・のりものブックコーナーの本の紹介・・・第1時(学校司書)
- ・クイズを作るにあたって調べ方の指導[情報活用スキルの指導]・・・第12時(司書教諭)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○乗り物に興味をもって教材文を読んだり, 好きな乗り物について調べたりしようとしている。	○事柄の順序を考えながら, 内容の大体と文章の構成を捉えている。 ◎文章の中の大事な言葉や文を考えて書き抜いている。	○主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。

6 指導計画 全14時間

次	時	目標	主な学習活動	評価		
				関 意 態	読 む 言 語	主な評価規準 (評価方法)
一 次	1	○教材文を読み、 内容の大体を読み 取ることができる。	○「どうやってみをま もるのかな」で、文 章が大きなまとまり に分けられることを 確認する。 ○全文を通読する。 ○形式段落をうつ。 ○全文を「はじめ」「 中」「終わり」の三 つのまとまりに分 ける。		○	○事柄の順序に気をつ けて、三つの構成を 捉えている。【読】(発 言・行動観察)
	2	○学習の見通しをも つことができる。	○教師の「のりものク イズ」のモデルを見 て、単元の学習課題 について確認する。 ○のりものブックコー ナーの本の紹介を 聞く。 学校司書による本の 紹介	○		○のり物クイズに興 味をもち、意欲的に 学習に取り組もうと している。【関】(行 動観察)
二 次	3 4 5 6 7 8	○「きゃくせん」 「フェリーボート」 「ぎょせん」 「しょうぼうてい」 の内容を読み取ること ができる。 ○文章全体の構成を 捉えることができる。	○「役目」「つくり」 「できること」につ いて書かれている部 分に、それぞれ線を 引く。 ○三観点についてワー クシートに書き抜く。 ○文章が「はじめ」「 中(四つの例示)」「 終わり」の三つのま とまりに分かれてい ることを確認する。		○	○「役目」「つくり」 「できること」を読 み取り、大事な言葉 に気をつけながらま とめている。【読】 (発言・WS) ○事柄の順序に気をつ けて、三つの構成を 捉えている。【読】 (発言・WS)
	9 本 時 10	○「ブルドーザー」 の図書資料を読み、 内容を読み取ること ができる。	○「役目」「つくり」 「できること」につ いて書かれている部 分に、それぞれ線を 引く。 ○線を引いたことを、 カードにまとめる。		○	○「役目」「つくり」 「できること」を読 み取り、線を引いて いる。 【読】(発言・WS) ○読み取ったことを、 カードにまとめている。 【読】(カード)
	11	○乗り物の本を読み、 調べたいことを見 つけることができる。	○図書資料を読んで、 調べる。 ○「のりものクイズ」 にまとめる乗り物 を決める。		○	○乗り物について調 べるために、乗り物 について書かれた本 や文章を進んで読 んでいる。【関】(行 動観察)

三 次	12	○調べたことをもとに「のりものクイズ」にまとめることができる。	○図書資料を読んで、調べる。 ○「役目」「つくり」「できること」について書かれている部分に、それぞれ線を引く。 ○調べた情報をもとに、「のりもの学校司書による情報の読み取りの支援」	○	○	○文章の中の大事な言葉や文を考えて書き抜いている。【読】(カード・行動観察) ○主語と述語とを照応させてカードを作ることができる。【言】(カード)
	14	○「のりものクイズ大会」を行い、単元の学習を振り返ることができる。	○2組と「のりものクイズ大会」を行い、クイズを出し合う。 ○感想を交流する。 ○単元で学習したことを振り返る。	○	○	○「役目」「つくり」「できること」の事柄ごとに、大事な言葉を見つけながら文章を読み取ったことを確かめている。(発言・カード)【読】

7 本時の学習 (第3次 9時間目)

(1) ねらい

ブルドーザーについて「役目」「つくり」「できること」を読み取り、線を引くことができる。

【読む能力】

(2) 展開

学習活動と予想される児童の反応	教師の支援	評価 (評価方法)
<p>1 前時までの振り返りをする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ブルドーザー」の資料を読んで、のりものクイズに書くこと(「役目」「つくり」「できること」)を見つけよう。</p> </div> <p>3 資料を読み、三観点に線を引く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>カードに書く三つの内容に線を引きましょう。</p> </div> <p>○個人で線を引く。 ○線を引いたところをペアで伝え合う。 ○ペアで確認したことをもとに個人で直したり、確かめたりする。</p>	<p>○教師の「のりものクイズ」を見せ、図書資料からのりものクイズに書く三観点を読み取る必要があることを確認する。</p> <p>○「役目」「つくり」「できること」の内容について確認する。</p> <p>○教師が図書資料を読む。その際、大きな字で書いてあるところから読んでいくと分かりやすいことを確認する。</p> <p>○(A) 修正していない図書資料, (B) 三観点到に注目しやすいよう加筆, 修正した資料を表裏で印刷しておき, 自分で選んで読み取れるようにしておく。</p> <p>○どこに線を引いたらよいか困っている児童には, 文章と一緒に読んだり, 前時までの活動を参考にさせたりする。</p>	

<p>4 線を引いた箇所について話し合う。</p> <p><u>「やくめ」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「でこぼこの地めんをたいらにしたり、土や石をあつめらりするしごとをしています。」と書いてあるよ。 ・「どんなしごとをしていますか？」の矢印の先に書いてあるよ。 <p><u>「つくり」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ブルドーザーには、大きくてぶあついブレードがついています。」と書いてあるよ。“ついている”と書いてあるから、これが「つくり」だね。 ・他にも、うで、つめの3つが載っているよ。 <p><u>「できること」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ブレード」の下のところ。ブレードでできることが書いてあるよ。 ・うでをつかってできることは、ここに書いてあるよ。 ・“バケット”と書かれたところに、バケットをつかってできることが書いてあるよ。 <p>5.次時への見通しをもつ。</p>	<p>○話し合いを通して、大事な言葉や文だけに絞っていく。</p> <p>○「○○を～したり、□□を…したり」ということは、役目が大きく2つあるということを確認する。</p> <p>○「できること」が「つくり」と関連していることを確認する。</p> <p>○教科書の本文とは違い、本時の資料にはより詳しい情報が載っていることに触れ、図書資料で調べることのよさや面白さが感じられるようにする。</p> <p>○次時は、線を引いたことをもとに、ブルドーザーのクイズを作ることを確認する。</p>	<p>○「役目」「つくり」「できること」を読み取り、線を引いている。【読】 (発言・WS)</p>
--	---	---

(3) 本時の具体的な評価

	十分満足できると判断される 児童の具体例	おおむね満足できると判断される 児童の具体例	支援を必要とする 児童への指導の手立て
読む能力	○図書資料を読み、「役目」「つくり」「できること」について、大事な言葉や文だけに線を引くことができる。	○図書資料を読み、「役目」「つくり」「できること」の部分に線を引くことができる。	○どこに線を引いたらよいか困っている児童には、文章と一緒に読んだり、前時までの活動を参考にさせたりする。

(4) 授業研究の視点

- 共通の図書資料を使って、「役目」「つくり」「できること」を読み取って線を引く活動をしたことは、大事な言葉や文を見つけるために有効であったか。